



参加無料

当日はおぜんざいをお配りいたします。

無くなり次第終了となりますので、予めご容赦下さいませ。

お寺下町 2019

一文字写経

十一月九日(土) 西光寺

十一月十日(日) 安養寺

法界寺 濱田御住職による揮毫開催!

お釈迦様が説かれたお経典は、人が生きていく上での苦しみや迷い(煩惱)から、悟り(極楽)への道を説かれたものです。その経典の中でも最も一般に親しまれている般若心経は600巻にも及ぶ般若経の神髄をたった276文字に表しています。新京極の一文字写経は2日間をかけて、この276文字を一人一文字ずつ書き込み、276人の思いを込めて一巻の般若心経を完成させ、お寺に納経し、後目に心願成就の祈願法要も致します。

新京極商店街振興組合

〒604-8046

京都市中京区新京極通蛸薬師下る東側町 507 れんげビル 3F

TEL. 075-223-2426

FAX. 075-211-1300

<http://www.shinkyogoku.or.jp/>



お問い合わせ

安養寺（倒蓮華寺）



浄土宗西山禅林寺派に属する寺である。由緒はきわめて古く、寛仁2年（1018）恵心僧都が奈良県當麻（たいま）に建てた蓮台院が当寺の起こりで、ついで恵心の妹安養尼が居住して安養寺と改名した。天永年間（1110頃）隆暹（りゅうせん）が京都に移し、鎌倉時代に入って証仏（しょうぶつ）が大いに寺運をひろめた。天正年間（1580頃）豊臣秀吉によってこの地に移された。本尊は阿弥陀如来立像で、八枚の蓮華を逆さに置いた上に立っているのが特徴で、このことから倒蓮華寺と呼ばれる。伝説によれば、本尊をつくる際、蓮座がどうしても壊れるので、蓮華を逆さにしたところ、無事完成した。これは女人は業が深く、心の蓮華はさかさまとなっていて極楽往生できないので、これを救済するため、わざと蓮華を逆さにしたのだといわれる。この本尊にまつわる伝説によって、昔から特に女性の信仰が深い。中京区新京極蛸薬師下る東側町

西光寺（寅（虎）薬師）



浄土宗西山深草派。山号北亀山。本尊阿弥陀如来。弘安年間（1278～1288）後宇多天皇から下賜され、寅薬師と称した薬師如来を安置するため、御倉堂を建立したのが始まりと伝わる。この薬師如来は弘法大師が一刀三礼し刻んだもので、寅の日の寅の刻に完成した事から、その名がついたという。元来は宮中に持仏として安置され、歴代の天皇の信仰を集めたという。お堂は1788（天明8）と1864年（元治元）に焼失、翌1865年（元治2）に再建されたが、明治44年三度焼失し、大正2年に再建。仮建築のまま現在に至る。寅薬師は京都十二薬師の第11番で、近世の名薬師の一つに数えられた。寅年生まれの守護佛としてだけでなく、広く開運繁栄、無病息災などの諸願成就の靈験あらたかである。堂内には別に安産守護の腹帯地藏尊像も安置されており、腹帯を授与している（要予約）。この地藏尊も近世の京都名地藏二十一地藏の一つに数えられ、洛陽四十八願所の第34番でもある。